2019年夏季手当JR7単組で妥結

2 単組で昨年を 上回る支給月数引き出す

6月21日のJR北労組の妥結をもって、 R7単組すべてで2019年夏季手当の 回答が出揃った。JR東海ユニオン、 西労組、JR四国労組、JR九州労組は、

春季生活闘争において妥結し、その後、J

R北労組、JREユニオン、貨物鉄産労が

特に、JR九州労組、貨物鉄産労におい

J R連合は、加盟各単組との連携をさら に深め、組合員の労働条件向上にむけ、新

中期労働政策ビジョンに基づいた取り組み

ては、昨年を上回る支給月数を獲得した。

真に民主的な労働運動を 不断に追求し、働く者と 家族の幸せ、JR産業の持 続的発展を実現しよう

http://www.jr-rengo.jp

交渉を続けてきた。

を展開していく。



、課題提

日本鉄道労働組 合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849 乗乗ビル9階 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849 1部20円 (但し組合費に含む) ●発行者/荻山市朗 ●編集者/今井孝治

facebook JR連合 a twitter > **★** JR連合 a)

R

連合運動を牽引するJR各単組で定期大会開

貨物鉄産労第35回定期全国大会 R貨物の持続的発展と貨物鉄産労の

飛躍

4月から施行された新人事 質疑に立ち討議が行われた。

記長が安全確立をはじめと

結がんばろうで、今後の運

書

大杉委員長の団

発意があった。辻村和裕書 組織課題など、多岐に亘る その後、7人の代議員が

労働条件・労働環境の課題、

議決した。

た議案すべてを満場一致で 大会宣言も含め、提案され

政治活動への取り組み、

さまざまな課題が示された に対する多くの発言により

約答弁を行い、役員改選や

する諸課題解決にむけた集

4組織拡 ②新人事 所信を述 ③交通政 について、 5参議院 大・強化、 策課題、 賃金制度、 要課題と 議員選挙 全の確立、 向や貨物鉄産労を取り巻く さらに、JR貨物の経営動 守る観点から共済加入・増 対応を求めつつ、組合員を 豪雨に触れ、自然災害への して①安 諸情勢に触れたうえで、 口についても呼びかけた。 貨物鉄産労 第35回定期全国大会 重

貨物鉄産労が会社との真のパートナーとならなければ ならないと語る大杉委員長

て、第28回定期大会を開催

議院議員、

JR連合から荻

行委員の丁寧な答弁の後、

JR東海ユニオンは、7

う」と力強く訴えた。

名古屋市内におい

大会には、

榛葉賀津也参

ついての発言があり、

業務課題、そして新制度に 特別代議員から組織課題や

書 同

記 長

政

UNION FUTURE →2027」で前進

た。

質疑では20人の代議員・

場一致で決定した。 静岡市内において、第35回 019年度の運動方針を満 定期全国大会を開催し、2 **大杉正美中央執行委員長は** 冒頭、執行部を代表して 貨物鉄産労は、7月1日、 起した。

と決意を語 挨拶を行った。 連合から荻山市朗会長と中 葉賀津也参議院議員、JR 村鉄平交通政策部長が出席 大会には、来賓として榛 それぞれ激励と連帯の った。

選させなければならない」 であることから「絶対に当 回定期大 会を開催 19年度 ر 2 0

挨拶に立ち、直近の地震や

連合国会議員懇談会会長の 榛葉議員に対しては、今年 発言に謝意を述べ、第25回 1月の参議院代表質問での 特に、来賓のJR 賃金制度の内容や制度運用 JREユニオン第7回定期大会

3日、都内において、

参議院議員選挙に出馬予定

REユニオンは、

真の企業内労働組合」を築き上げてい

第 7

にある11の労働組合の中で、

行委員長は、

「JR東日本

代表して 針を満場 の運動方 挨拶に立っ 執行部を た菅野一 定した。 致で決 冒頭、 7回定期大会



ーニーニー 新たな原動力をもとに将来を見据えた運動展開を訴え る菅野委員長

| 単組名 | 2019年 | | | | 2018年 | |
|---|-------|------------------------|------|-------------------|-------|------------------------------|
| | 要求日 | 要求内容 | 妥結日 | 妥結内容 | 妥結日 | 妥結内容 |
| JR北労組 | 5/27 | 2.4ヶ月 | 6/21 | 2.01ヶ月 7/4支払 | 6/22 | 2.02ヶ月 7/4支払 |
| JREユニオン | 2/12 | 3.2ヶ月 | 6/11 | 2.91ヶ月 6/28支払 | 6/12 | 2.91ヶ月 6/28支払 |
| JR東海ユニオン | 2/8 | 3.1ヶ月 | 3/14 | 3.05ヶ月 6/28支払 | 3/15 | 3.05ヶ月 6/29支払 |
| JR西労組 | 2/8 | 年5.7ヶ月 | 3/13 | 年5.48ヶ月 6/28支払 | 3/14 | 年5.66ヶ月 6/29支払 |
| JR四国労組 | 2/12 | 2.3ヶ月 | 3/20 | 1.89ヶ月 7/5支払 | 3/23 | 1.94ヶ月 7/6支払 |
| JR九州労組 | 2/12 | 3.0ヶ月 55歳以上加算 | 3/15 | 2.56ヶ月 6/28支払 | 3/16 | 2.52ヶ月 +50,000円 6/29支払 |
| 貨物鉄産労 | 2/13 | 年4.5ヶ月以上 (夏2.1ヶ月以上) | 6/17 | 1.75ヶ月 7/5支払 | 6/18 | 1.65ヶ月 + 0.08ヶ月 7/6支払 |
| を院でのが回丁繰制ま65員でし動 E 『年茂 して、3 でのが回丁繰制ま65員でし動 E 『年中 日 た、3 は、 | | | | | | |

2019年「夏季手当」要求及び妥結状況表

院議員選挙では、榛葉議員 ができた。今後も残る課題 を必ずや国政に送り出そ 回る大きな前進を図ること 繰り返して組合員の意見を **亅寧に集め、当初提案を上** 改善に引き続き取り組ん は、総対話行動を また、第25回参議

65歳定年延長などが盛り込 貝参画で充実させていこう。 で示された各運動領域を全 動のさらなる質的強化をめざ 年間積み上げた中期目標 E⇒2027』に基づく運 U N I O N [3つのアクション!] 「新しい人事・賃金 F U T U R ~9日、徳島市内において、

わせて変化してきたことに 中濱斉執行委員長は挨拶に まなかったことと時代に合 果はイデオロギーを持ち込 冒頭、執行部を代表して 「この間の運動の成

戊中央執行委員長は、 挨拶に立った鎌田 $\overline{1}$ 歴 JR四国労組第38回定期大会 JR四国労組は、7月8 史を伝え新たな時代を築く

年度の運動方針を決定し 新たな風を」を掲げ、第38 および傍聴者等の総勢約1 会には代議員、特別代議員、 回定期大会を開催した。大 40人が出席し、2019 スローガン「新たな時代に 創り、人 組織とし るため、 に継承す 次の世代 働運動を て「人を

えていく 歴史を伝 を育てる』 と語った。 とともに 大会には、 新たな風を! な時代に

4期8年間務めあげた執行委員長として新たな時代に託 すべきことを述べる中濱委員長

くくり、新年度のスタートを 長の団結がんばろうで締め

代を築くべく、大谷新委員

層の団結により新たな時

切った。

副執行委員長 執行委員長 (三役)

幸

大 清

再 新 新

長

行った。 方針案および 席し、激励と連帯の挨拶を 中村鉄平交通政策部長が出 から尾形泰 執行部から 予算案が提起 新年度の運動 郎事務局長と

最後に、JR四国労組の

新体制が確立した。 長には嶋田剛好氏を選出し、 委員長に森安祐貴氏、書記

け、実践してきた民主的労 ある。今後も日々進化し続

新新再再 われ、長年に亘りJR四国 針等が満場一致で採択され 委員長に大谷清氏、副執行 員長が退任し、新たに執行 た。さらに、役員改選が行 らの中間答弁および大谷書 る声が挙がった。執行部か 労組を牽引してきた中濱委 記長の総括答弁を経て、方 四国新幹線の実現を期待す

組織の継承にむけて一丸と た労働組合として、「変革2 進んできた私たちにしかで ならない。この1年がとて 職場づくりに、会社と議論 ら会社がめざす変革された ユニオンの絶対的な躍進と も重要な年となる。JRE し真剣に取り組まなければ ョン、を掲げ、職場の中か 019イーストイノベーシ きない。私たちは信頼され の構築は、 R東海ユニオン第28回定期大会 30年間ぶれずに 出席し、それぞれ激励と連 議、JR連合から荻山市朗 会長と中山耕介組織部長が

一語られた。 採用の2人からは今後の積 極的な取り組みへの決意が ついて発言し、特に、JR 員が業務課題や組織課題に

今将来を見据えた労使関係 なって取り組もう」と力強 院議員、井上英治春日部市 く訴えた。 大会には、川合孝典参議

帯の挨拶を行った。 大会質疑では13人の代議

* 安勢副委長 事務局長 中央執行委員長 員長に就任予定

2地本の委員長が中央執行副委 秋 飯山 野 国井 道徳 順一 位 浩 新 再 新 山知章氏 新たに丸 が中央執 選では、

が書記長に就任するなどの 行副委員長に、 新たな執行部体制が選出さ (三役) 政所大祐氏

中央執行委員長 尾 鎌 丸 大 知 裕 祐 章 昭 茂

山市朗会長が出席し、

ぞれ激励と連帯の挨拶を行っ

強する発言を行った。業務 され、33人の代議員・特別 代議員が方針等を骨太に補 ネットワークの維持活性化 の将来と地域における鉄道 する内容に加え、JR四国 課題や労働条件・環境に対 にむけた新たな支援策や、

未来を見超えて「みんなでアクション」 JNION FUTURE ⇒2027」に基づく運動を着実に前進させ 気なにわたる場合目 家族の奉せを実現しよう

像させるような笑顔あふれ

JREユニオンの躍進を想

仲間も加わり、これからの

べての議

案が満場

一致で承

る闊達な大会となった。

認された。

役員改

(三役)

組織を挙げたこの間の成果と引き続きの課題解決にむけた 活動を要請する鎌田委員長

合った。 の前進に向けて決意を固め 動のさらなる展開と、一 層 第25回参議院議員選挙

投票

日

7 月 21

日

中央執行副委員長 大杉

史教委長 (三役)

記 長 小笠原浩文 辻村 和裕 再再再

投票に

井道徳氏が副委員長に、菅 井正和氏が事務局長に就任 新たに国 投票に行け による総 郎書記長 尾形泰二

役員改選では、

した他、JR採用者4人が 執行委員に加わった。若い 行い、す 括答弁を

ない方は期日前投 票



とする報告書き 提出しました

> 野然556 不足する

金融庁は老後に必要な 蓄えが約2千万円

りまで生きたしゃがあと30年、ワシらは今65

学童疎開輸送中にアメリカ

の基調講

集会のオープニングでは、

定調査に 一国地位協 日」として、沖縄県内各地

6月23日は「沖縄慰霊の

海軍の潜水艦からの攻撃に

演が行われた。島袋氏から

惨さを次の世代にしっかり

ボランティア活動を通じた

社会貢献に取り組んでいく。

度を示しつつ、「ここで学

触れながら政府に対する態

沖縄の歴史と現状について

後十数年間は、組合役員の経験はあ 運輸区へ転勤となりました。入社 分割民営化を経験し、その後、富士

1986年に運転士となり、激動の

り、運転士になるまで自動車での乗 していましたが、助士が廃止とな

務員輸送の運転手をしていました。

展開してきた。引き続き、

性化ボランティア活動」を

早川町と連携した「地域活

2008年度からは山梨県 スカ「富士山の森づくり」、

より多くの被害者を出した

を追悼し、平和実現を祈っ で式典等が催され、戦没者

れ、戦争の悲しみを再認識

一り組みについては

一問題点

題などが語られ、今後の取 は日米地位協定の現状と課

対馬丸に関する映像が流さ

連合平和行動 in 沖縄2019

戦争の悲劇を語り継 「位入学和の実現へ

結し、JR連合からは中村

対策課の 公室基地 縄県知事 では、沖

島袋秀樹

愽成組織の1274人が集

全国から地方連合会と

鉄平交通政策部長とともに、

R西労組中央本部青年女

調査班長 から、「他

性委員会の猪狩孔隆常任委

山崎真由常任委員の3

和オキナワ集会」を開催し 市にて平和行動m沖縄「平 ている。連合は同県豊見城

第一部

東日本大震災復興支援ボランティア

再生プロジェクトに

参画

JR連合は、財団法人オ



げられた。東京オリンピッ 災林の再生にむけたもので、 宮城県南部沿岸域の海岸防 ク・パラリンピックが開催 となどを目的として立ち上 金活動とともに、2015 創造的復興の一端を担うこ 年度からボランティア活動 プロジェクト」に賛同し、 日本大震災復興海岸林再生 イスカが進めている「被害 界日本大震災からの発展的・ により大きな被害を受けた 同プロジェクトは、津波 愛のカンパ」を通じた募

ととこれに伴う雇用創出を 目標に掲げている。 6月29~30日、JR連合

一と加盟単組組合員29人が、

される2020年までに約

林を2033年まで行うこ 植栽を行い、100hの育 苗木回りを振り返り、達成 作業後には、綺麗になった 初日は、雨が降り、冷たい ため、除草作業に参加した。 栽された苗木の生育保護の 風にもさらされながらも、

50万本のクロマツの育苗・ 海岸防災林を形作るため植

感を共有した。 翌日は荒天のため作業を

岡支部執行委員長の増田稔です。

JR東海ユニオン静岡地方本部静

2年ぶりにクロマツに再会し

クトでのボランティアの他に 認し合った。 人の命の尊さについて再確 災対策の必要性、何よりも 非難誘導をはじめ防災・減 自然災害の脅威とともに、 を残して公開されていた。 て示された高さは2階フロ た。当時の津波到達線とし アを越え、内部は被害状況 JR連合は、同プロジェ 2007年度からはオイ

連合平和オキナワ集会 集会・ピースフィールドワ に思いをはせる参加者 めて平和の尊さ、 国民民主党本部において、 交運労協は、7月2日、

をさらに明確化していきた 冒頭参加者全員による黙祷 局長は挨拶に立ち「あらた 表して連合の相原康伸事務 が行われた後、主催者を代 第二部の平和式典では、 戦争の悲 連合は政府の姿勢を質して り返さないことを堅く誓い いかなくてはならない」と 合いたい。米軍基地をめぐ 語り継ぎ、二度と悲劇を繰 日本全体の課題でもある。 る問題は沖縄だけではなく

古(瀬嵩の浜)、嘉手納基地

室での諸行動に参加する。

動として、広島・長崎・ していく。今後、平和4行 種取り組みに積極的に参画

ルドワークに参加し、辺野

集会翌日は、ピースフィー

国民民主党 ||新しい答え201 9に意見

「国民民主党が公表した

約に対して訴えた。 は中村交通政策部長が同公 表が出席し、JR連合から 労協からは各構成組織の代 議員懇談会副会長)、交運 太政調会長(JR連合国会 を行った。同党からは泉健 2019」に係る要請行動 策パンフレット「新しい答え 同党の参院選公約となる政 とりわけ、 きない内容が含まれている。 は、交運労協として看過で 取り組んでいる交運労協の の低料金・上限定額制』に 共交通体系の構築に向けて ついては、シームレスな公

冒頭、住野議長が挨拶し、 報道であり、事前に交運労 内容を知り得たのは、新聞 方針と相反するものである。 新しい答え2019』

であると

の経験を引き継げていなかっ

ただいたデー

タなど、過去

えて今後、党内で精査して

いきたい」と見解を明らか

について、当時提供してい

の高速道路料金無料化施策

方をまとめたものを掲載し

ている。今回の意見も踏ま

た。「新しい答

え2019 |

新しい答え2019』に 『高速道路料金

省している。

導入された 中村部長は「2009年に た」と要請の趣旨を伝えた。 協との間で情報共有がなかっ 各出席者から発言を行い、 『高速料金上限

スある交通政策を求め訴える中村部長 ら、デチー 通ぎチー ドのベス ム地域共 げ、各モー ム公共交 スが重要 トミック 創〟を掲

Ŕ

R四国の場合だと、収入1 は大きな打撃を受けた。J なトラウマとなっている。 トされ、組合員にとって大き 総合交通体系 の観点か

交運共済 ニュース 自然は強い。 共済も強い。

務局次長という立場として 協の政策推進議員懇談会事 要請内容については反 旧民主党時代 「交運労 9』というさまざまな政策 課題に関する基本的な考え のであり、党のHPには の政策を説明するためのも は、国民に分かりやすく党 『政策インデックス201

る」と述べた。 泉政調会長

は、

家族の幸せを災害から守る 火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/入院共済

役員紹介



JR東海ユニオン

から行っており、毎回100人を超 ます。この合同イベントは、6年前

ベント」を清水の地にて開催してい

稔 静岡支部

さ

任され、翌年支部執行委員長の再登 執行委員長を務めさせていただき 板を仰せつかり、現在に至ってい 勤となり、その年に支部副委員長 した。2013年に静岡運輸区 役員を任され、分会長、そして支 りませんでしたが、富士運輸区で

らして臨んでいます。

ど、毎年アレンジを加え、参加者に

マンネリ感を与えないよう工夫を凝

検討し、様々なゲームを実施するな ント開催に際しては、事前に内容を 加し、盛大に開催しています。イベ える組合員とご家族のみなさんが参

前進である静岡運転所へ配属されま

した。貨物列車の助士として乗務

力車乗務員予科として静岡運輸区の

1982年国鉄最後の採用で、動

静岡支部は、活動の充実を図る

岡おでん」「黒はんぺん」等、多く せんが、他にも「モツカレー」

は、それが当たり前なので気付きま と県外の方からも評判です。地元で

し易く、食べ物も特に魚が美味しい

静岡はとても気候が穏やかで過ご

を、ユース組織を含め年に数回開催 め、支部主催のレクリエーション等 しています。毎年恒例となっている ·静岡支部&支社支部合同BBQ

いってください。

岡に寄られた際には、是非楽しんで の美味しいものがありますので、静

について学習し、平和の尊 史とともに、基地の現状等 チリガマ、普天間基地 さを確認しあった。 数高台)を巡り、戦争の歴 (道の駅「かでな」)、チビ JR連合は連合の一員と (嘉

交運共済(JR職域生協)

行動の目的の共有を呼びか

して平和の実現にむけた各

なければならない」と平和

の運動として展開していか

に持ち帰り、今後それぞれ び感じたことを地域や職場